協議資料①

宮津市庁舎移転整備に向けた基本計画　コンセプト案

2025.05.15

コンセプトの整理

■基本コンセプト■	■基本計画■
利用しやすく親しみのある庁舎　利便性 1	
市民にとって親しみが持て、誰もが**気軽に集える交流の機能**を有する庁舎とする。	行政機能・市民の利用率が高い窓口を集約して配置し 市民が親しみ、気軽に集い交流できるオープンスペースを提供する。
災害にも強く、安全・安心を確保する庁舎　安全性 2	
強固な防災性を備えるとともに、万が一の大災害時、非常時、緊急時において、 災害対策拠点として必要な防災機能を備え、**市民の安全・安心**に資する庁舎とする。	新耐震（1981年）に合致した建築物であるミップルに移転することで 現市庁舎より災害に対する安全性が向上する。
シンプルで経済的な庁舎　環境・経済性 3	
過度な装飾は排除し使いやすさを重視するとともに、将来の財政負担が過大と ならないよう、初期投資も維持管理も**低コスト**な庁舎とする。	移転による改修範囲を2Fと4Fに集中し、3Fを現状維持することで 必要最小限の範囲とし、移転改修に伴うコストを抑える。
機能的な庁舎　機能性 4	
市民の**利便性向上**を図るため、分散している行政機能を**1か所に集約し機能性を高める**とともに、設備のバリアフリー化はもとより、国際標準であるユニバーサル デザインを導入し、ダイバーシティにも配慮した来庁者にやさしく、職員が働き やすい庁舎とする。	ミップルへの全面的な移転および窓口部門を集約することで行政機能 および市民の利便性を向上する。汎用性の高いオープンスペースや議場 の計画により、市民・職員双方にとって利用しやすい庁舎とする。
＋ 意匠性 5	**宮津らしさのある庁舎** 市民に開かれ、海に開かれた『宮津の窓』となる庁舎として 市民への配慮（総合案内・わかりやすい窓口・個別相談スペース・ 様々な活動が行える交流広場の設置など）と、海の見える立地環境を 最大限に活かした空間構成により、宮津らしい空間づくりを行う。

Concept
市役所窓口フロア 2F計画コンセプト

基本コンセプトのとおり、安全(2)でシンプル、経済的(3)、機能的(4)な庁舎であることをベースとしつつ、いかに
◆便利で親しみやすい(1)＝市民に開かれた　　**◆宮津らしい(5)＝海に開かれた**
場所をつくるか、は宮津市ならではの庁舎計画として重要なポイントとなります。

市民に開かれ  海に開かれた『宮津の窓』となる庁舎

Seaside mart MIPPLE

市場・人の集まる中心地



MI … Miyazu
P … Place for
PLE… the People
(宮津の人々のための場所)

※庁舎としての新たな定義(案)

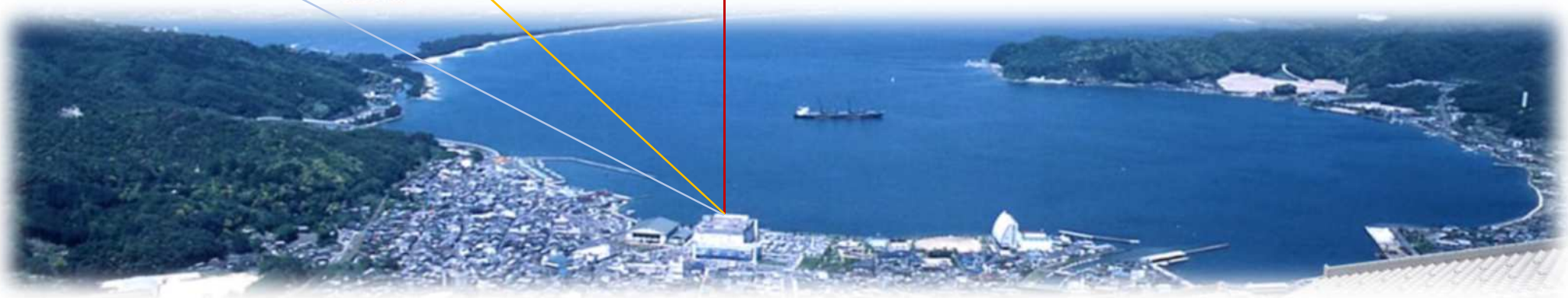
海の京都

Point 1：市民に開く

市民の利便性を第一に考え、**窓口部門をひとつのフロアに集約**します。市民が親しみやすい空間として**広い待合ロビー**の他、多様な使い方を想定した**交流スペース**を設けます。カフェの設置等、民間活用も検討し、用事があってもなくても居心地のよい、**市民に開かれた**空間づくりを目指します。

Point 2：海に開く

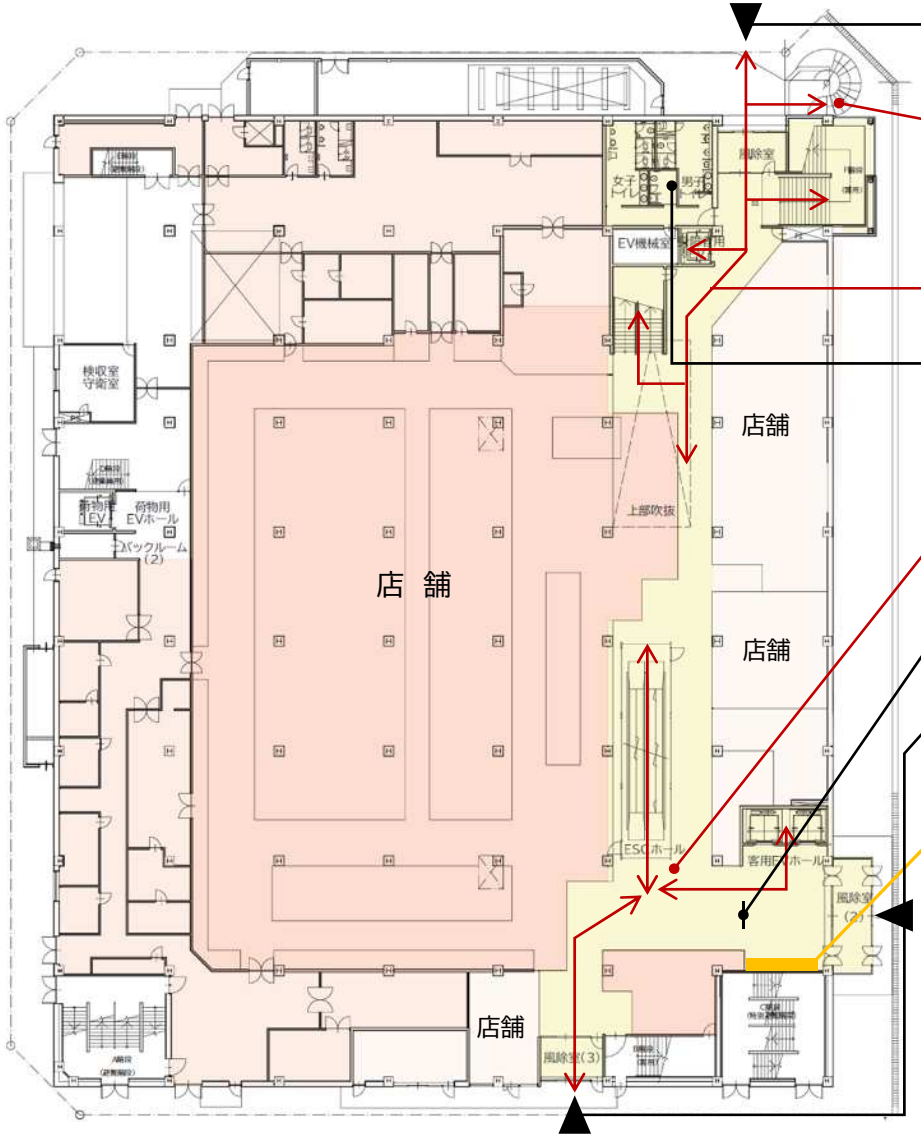
ミップルへ移転する場合、構造上、予算上、その他様々な条件から、海の目の前という立地を活かして外壁部に新たな開口部を設けるような大規模な意匠的改修は困難です。そこで、**海に面した2Fの既存開口部**を**最大限効率的に活かす計画**を行い、**宮津ならではの魅力をアピール**できる、**海に開かれた**空間づくりを目指します。



Concept
市民への窓口
1F計画コンセプト

Point 1：市民に開く

1F



【検討ポイント】

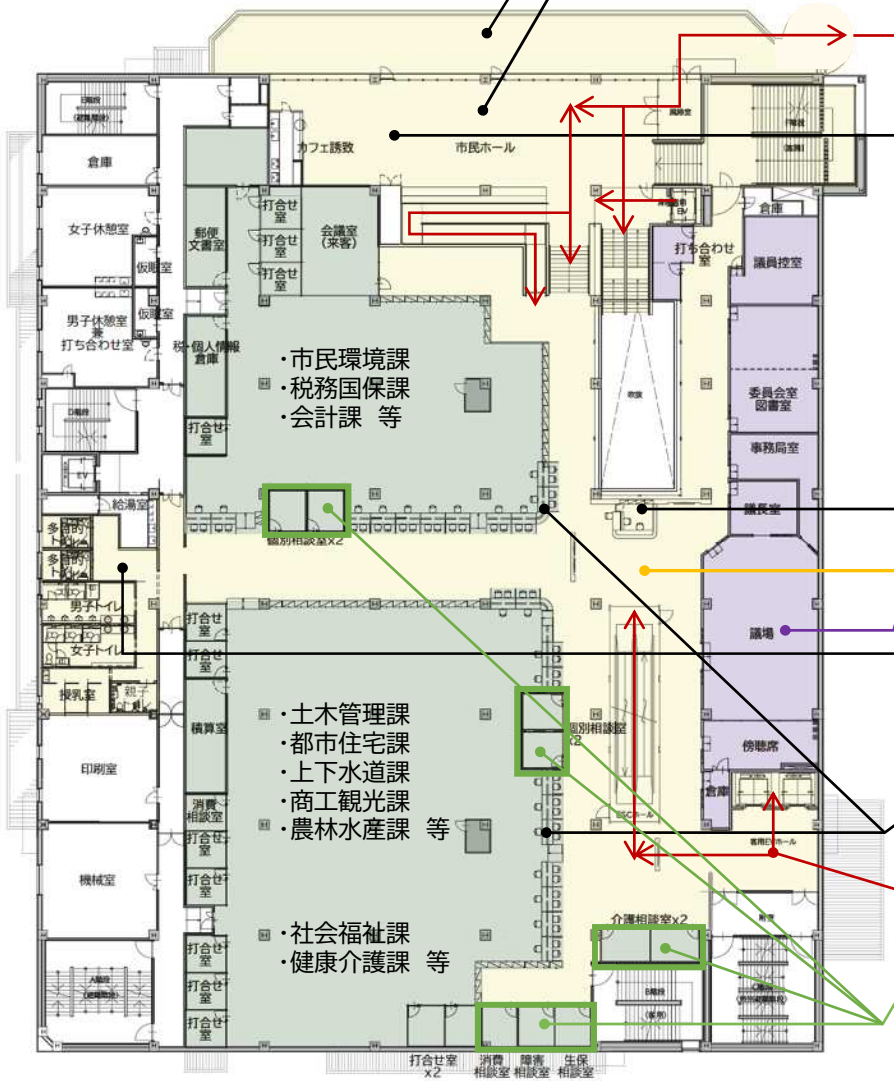
- 市役所のエントランスとして、来庁者に分かりやすく、視認性の高い**外観・サイン計画**を行う
- 北側エントランスから中2階のテラスへ、**屋外の直接アクセス**を確保
- 北側エントランスから2階・中2階への複数動線および2～4階へアクセスする南西側のエスカレーター・EVへの**動線をわかりやすく導くサイン計画**を行う
- 利用しやすい**トイレへの改修**を検討する
- 外部から2～4階への**利用者の動線計画**（EV・エスカレーター）
- 南・東側エントランスは市役所と店舗の共通の「主要導入部」となるため、目的別にわかりやすく誘導する**サイン計画**を行う
- 市役所のエントランスとして、来庁者に分かりやすく、視認性の高いサイン計画を行うだけでなく、**顔としての外観の設え**を検討する
- 市役所の主要エントランスとして、デジタルサイネージやモニターの導入等、市民が施設全体を利用しやすい**情報発信の新しい方法**を検討します。

店舗関係範囲　　一般開放範囲

Concept
市民への窓口
2F計画コンセプト

Point 1：市民に開く

2F



【検討ポイント】

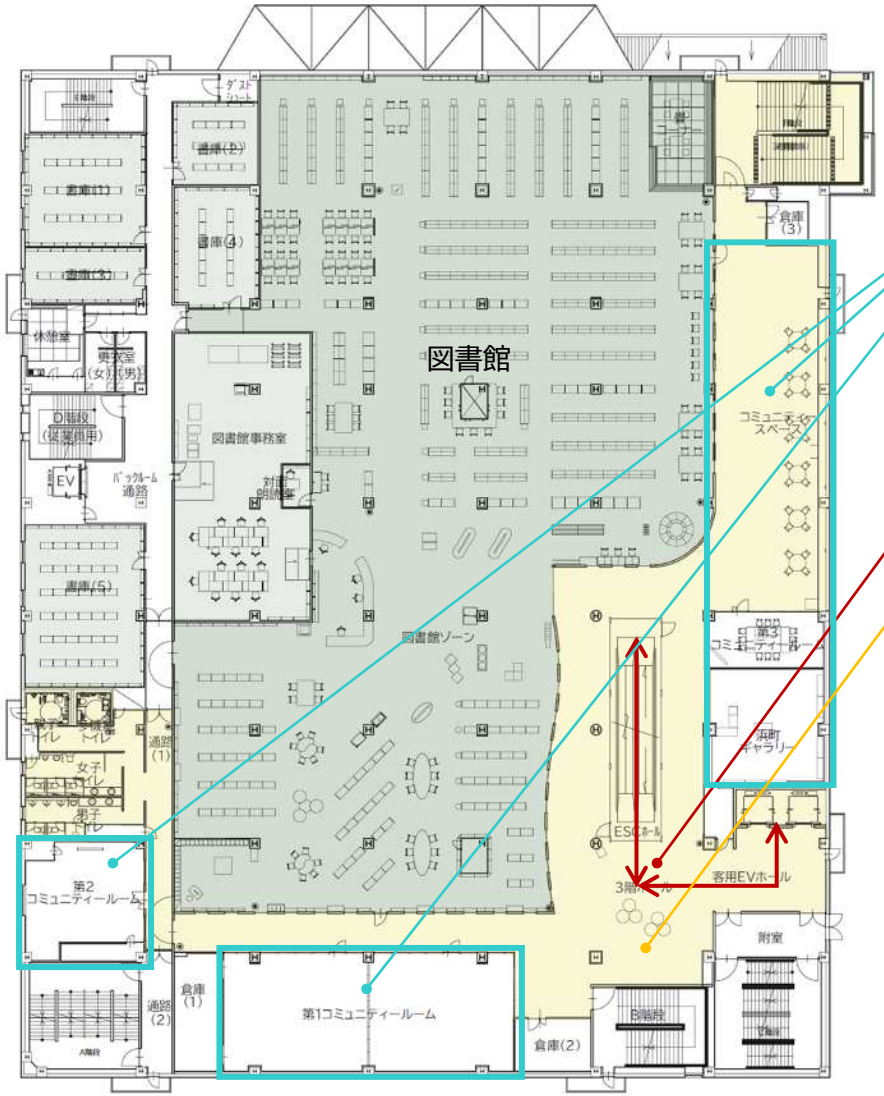
- 市民に**開放されたテラス・オープンスペース**計画
- 外部から中2階、2階への**利用者の直接動線**、アプローチ計画
  （EVやスロープ等の、高齢者・身障者配慮も含む）
- **市民ホール**の設置計画（**民間誘致によるカフェ等**も検討し、面積配分等の計画をする）
- 窓口部門と同じフロアに議会部門を配置し、市民との距離の近い**オープンな議会**として計画
  （議会開催時以外は市役所の会議室として活用）
- 市役所の**綜合案内**の設置計画
  （市民にわかりやすい案内ができるよう、受付の配置を計画し、**情報発信のモニター**や待合席の配置も計画する）
- 広々とした**待合ロビー**の計画　※市民に開放されたエリア
- 利用しやすい**ユニバーサルデザインのトイレ**（授乳室も含む計画）
- 市民の**プライバシーに配慮**した**窓口ブース**の計画
- 市民の**プライバシーに配慮**した相談室等の**個室**の計画
  （職員の会議等と兼用できる、多様な利用を想定し計画する）
- 外部から2～4階への**利用者の動線計画**（EV・エスカレーター）

市役所範囲　　議会範囲　　市民開放範囲

Concept
市民への窓口
3F計画コンセプト

Point 1：市民に開く

3F



【検討ポイント】

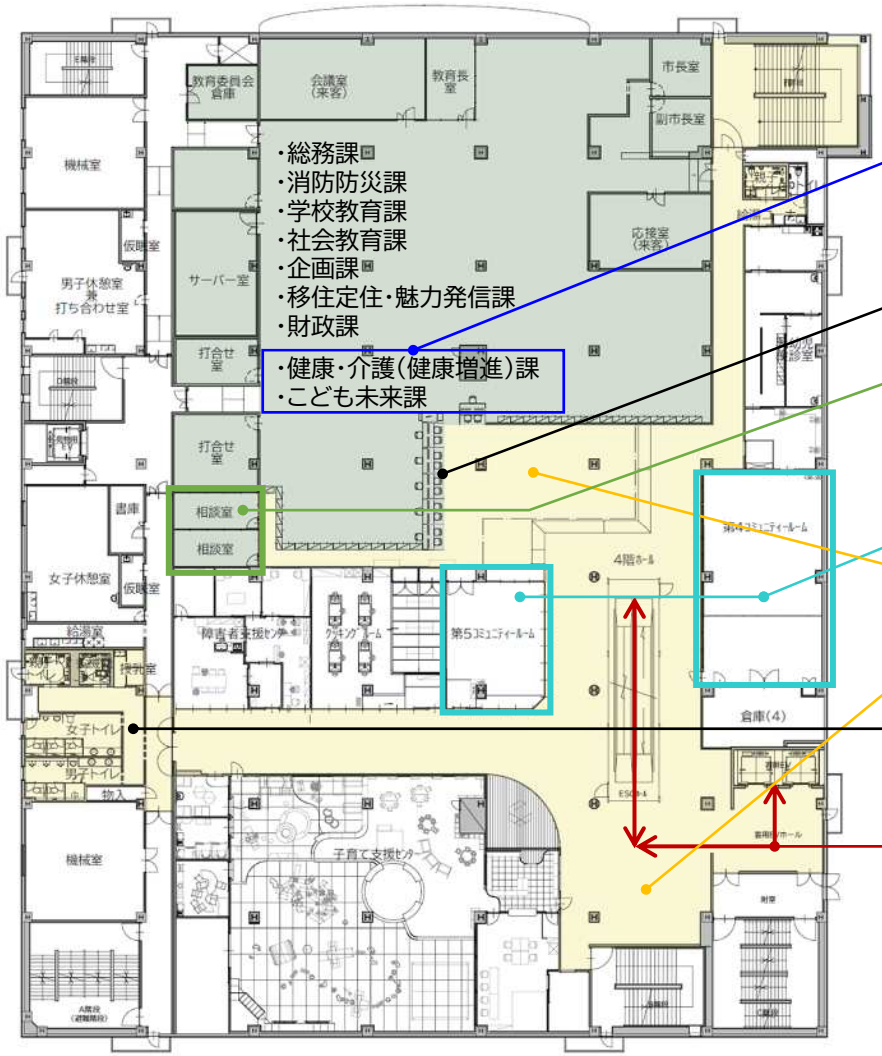
- 図書館のフロアは、様々な**市民活動**や**職員との協働利用**が可能なコミュニティスペースやコミュニティルームとして現状を維持する
- 外部から2～4階への**利用者の動線計画**（EV・エスカレーター）
- **待合スペース**や**ホール**を十分に確保する

図書館関連範囲　　市民開放範囲

Concept
市民への窓口
4F計画コンセプト

Point 1：市民に開く

4F



【検討ポイント】

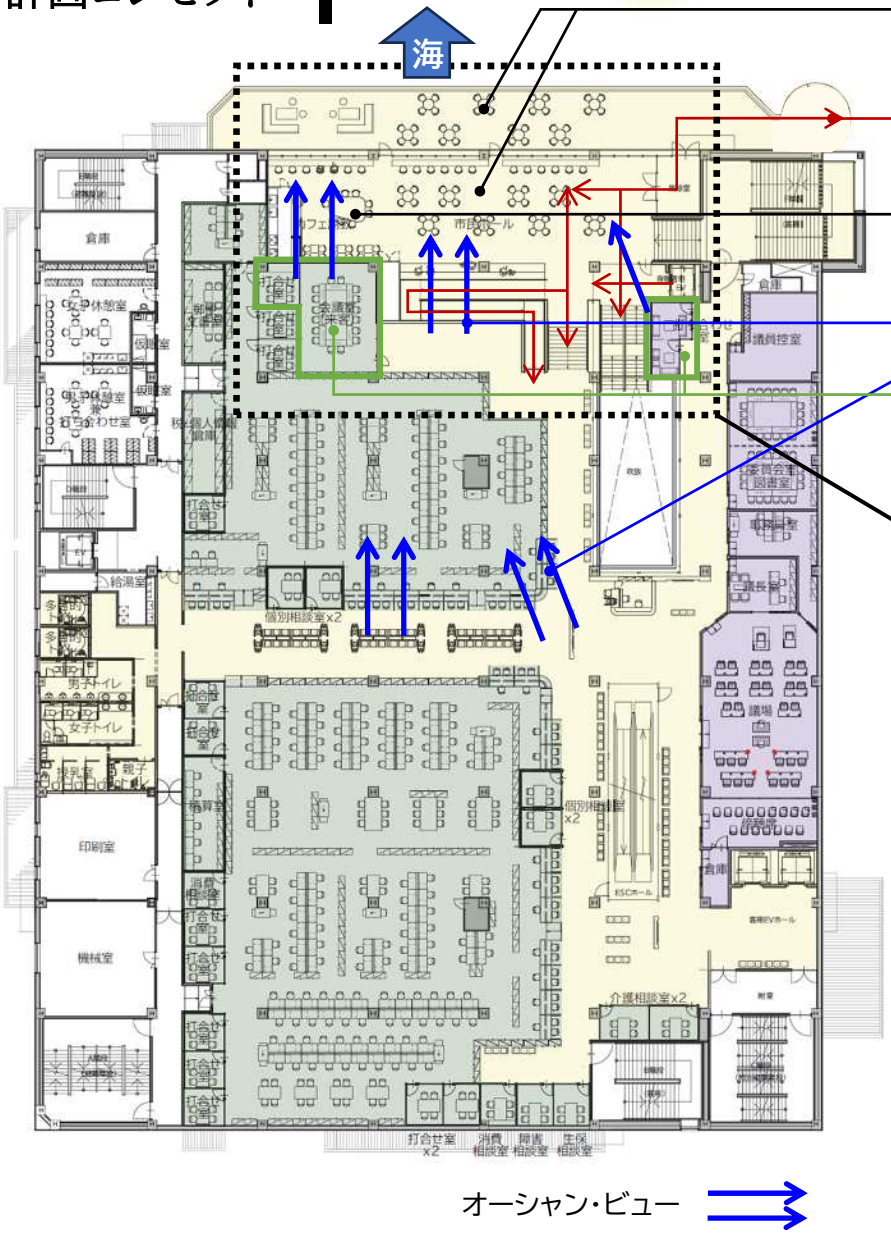
- 『にっこりあ』や『乳幼児健診室』が配置されているため、健康・介護（健康増進）課とこども未来課の窓口は同じ4Fフロアに配置し、連携しやすい体制を計画する。
- 市民のプライバシーに配慮した窓口ブースの計画
- 市民のプライバシーに配慮した相談室等の個室の計画
  （職員の会議等と兼用できる、多様な利用を想定し計画する）
- 様々な市民活動や職員共同利用が可能なコミュニティルームを維持する
- 待合スペースやホールを十分に確保する
- 利用しやすいユニバーサルデザインのトイレ（授乳室も含む計画）
- 外部から2～4階への利用者の動線計画（EV・エスカレーター）

市役所範囲　　市民開放範囲

Concept
市民への窓口 2F計画コンセプト

Point 2：海に開く

2F

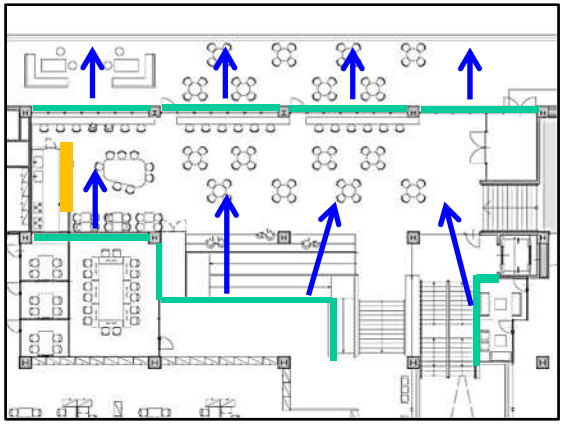


オーシャン・ビュー

【検討ポイント】

- 海を臨む、**開放されたテラス・オープンスペース**計画
- 海側から中2階への**観光客を含む利用者の直接動線**、アプローチ計画
  （EVやスロープ等の、高齢者・身障者配慮も含む）
- **眺めのよい市民の憩いの場（市民ホール）**の設置計画（**民間誘致でカフェ等**も検討し、**宮津ならではの魅力をアピールする場**をつくる）
- 前面に海を臨む「**海の見える市役所**」の窓口フロア計画
  （視界を遮らない工夫、什器計画を取り入れる）
- **海の見える会議室・打合せ室**の設置計画
  （市民相談の他、職員会議等を含む多様な利用を想定し計画する）

海の見えるテラス・参考イメージ



- 中2階、2階共に既存建物の開口部を視覚的に開放するガラス壁面の計画
- オーシャン・ビューを確保する
- 情報モニターを設置すれば様々な用途に多様に対応できる

参考事例：中野区役所イベントスペース「ナカノバ」



ガラス面を活かした外構に対して開放的な空間づくり



2階からも屋外の景観を臨むことができる